

小規模多機能型居宅介護「サービエ評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 明生会	代 表 者	岡田 健一	法人・ 事業所 の特徴	介護が必要になっても住み慣れた地域での生活を継続することが出来るよう、ご家族や地域とのつながりを大切に考え、利用者の心身の状況や置かれている環境を踏まえて、「通い」「訪問」「泊り」のサービスを柔軟に組み合わせることにより、ご自宅での生活が継続できるようになじみのスタッフが支援します。また、ご家族への身体及び精神的負担の軽減を図るサービエ提供にも努めております。
事業所名	悠々庵 小規模多機能型居宅介護	管 理 者	松本 研		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	人	1人	人	2人	人	7人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	- 情報の共有は、職員全員が集まっていたのカンファレンスを開き、必ず記録を残す。 - 原点を忘れず今年度も引き続き年間を通した長期目標として、改善計画に職員一丸となり取り組んでいく。	- コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、思うように取り組めないことが多かったのではと思うが、今後はこれまで自粛していたことを、感染対策しながら積極的に取り組んで行けたなら良いのではないかと思う。 - 運営推進会議のメンバーになりまだ僅かの期間であるが、事業者から説明を聞いて少しずつ理解してきている。今後も運営推進会議で情報を発信し、さらに理解ができるようになればと思う。	- スタッフそれぞれが事業所のあり方について考える機会となり、取り組みもうとしている姿勢が感じられた。 - 全員が参加することは大変と思うが、自己評価を行う事で職員が気を引き締めてくれる効果も高いのではと思う。	- 今年度の計画をじっくり取り組み、自己評価や改善計画を継続するとともに、取り組みんだ内容の振り返りを話し合い、改善意識を高める。 - 原点を忘れず今年度も引き続き年間を通した長期目標として、改善計画に職員一丸となり取り組んでいく。

B. 事業所の しつらえ・環境	・整理整頓にて室内の清潔感に気を配り、居心地がよい空間作りを怠らない。 ・施設内が四季を感じる飾り付けを利用者と職員共に作り、飾り付けを楽しむとともに、施設外でも四季を感じていただけるよう、出掛ける機会を多く立案していく。	・今後、感染対策しながら事業所へ訪問させていただけたらと思う。以前その日の昼食メニューをいただく企画もあった、そんな企画がまた実現ができれば良いと思う。 ・全員で施設外に出て四季を楽しんでいただく事は大切だと思う、感染対策しながら少人数でも計画されたら良いのかと思う。 ・活動状況を写真で見せていただき皆さん笑顔が見られ、楽しく過ごされているなと感じられました。	・コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、事業所への入室は最近していないが、最近の出来事を写真で報告を受けているのでイメージする事ができた。 ・玄関の鍵は、朝7:00から夜19:00までは掛かっていないと説明がありました。 ・壁には四季を感じる飾り付けがなされており、利用者と共に制作をしている風景を運営推進会議にて写真を見せていただいてイメージする事ができた。	・整理整頓にて室内の清潔感に気を配り、居心地がよい空間作りを怠らない。 ・感染対策を行いながら事業所の内覧をしていただき、しつらえ、環境を感じていただく。
C. 事業所と地域の かかわり	・地域での介護の困りごとが相談しやすい場所となるように、小規模多機能型居宅介護の役割を運営推進会議にて常に発信させていただきます。	・現在は近隣の団地へ住まわれている方の利用者がいないが、住み慣れた近くの方が利用すれば安心感がある場所になるのではないかと思う。 ・これから地域との心配な方の相談が出来て、一緒に協働していただきたい。 ・事業所の知名度を上げるには、法人全体での発信が効果的だと思う。 ・以前、お祭りの開催にあたり電柱へ案内ポスターを付けてPRをしていたと思う、目に入り見ている方はたくさんいたと思う。	・法人の「軽費老人ホーム悠々の里」は知名度も高い施設だと思うが、「悠々庵小規模多機能型居宅介護」は、どんなことがでできる事業所なのかをこれから発信続け、知名度を上げていけたら良いのでは思う。 ・事業所への入室は最近していないが、最近の出来事を写真で報告を受けているのでイメージする事ができた。 ・コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり、行事やイベントへは参加していないと報告を受けている。	・小規模多機能型居宅介護の役割を運営推進会議にて常に発信させていただきます。 ・感染対策を行いながら、地域の行事やイベントに参加し、事業所のPRも兼ねる。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・地域との関りや、近所の方との繋がりを大切にし、知り得た情報は共有し、関りが途切れないように支援を提供する。そのためにも、訪問や送迎時など利用者本人が住んでいる地域の方との接点を大切にする。	・以前事例で、ご近所の心配な方に事業所はかわっていたことが分かった。 ・運営推進会議にて、在宅生活を支援するための地域との接点や、近所の方との関り等、実践されている事を報告いただけたら、事業所の事を理解しやすいのかと思う。	・コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、外出やイベントへの参加は機会がなくなっていると聞いている、今後感染対策を行いながら外出が行えるようになれば良いと思う。 ・運営推進会議で見せていただく活動報告写真で、外出する機会やイベントに参加する様子が少し見受けられました、また一緒におやつ作りを楽しまれたり、利用者さんが笑顔で楽しまれているのが伝わりました、これから外へ連れ出す機会や笑顔を引き出す関わりを継続してほしいと思います。	・地域との繋がりを大切に、感染対策を行いながら利用者と地域の行事やイベントに参加し、地域との交流の場を作る。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	・運営推進会議にて、地域の心配な方の相談や、事例検討報告を行い小規模多機能型居宅介護の理解を深める。	・以前、小規模多機能型居宅介護のパンフレットで説明を受け分かったりやすかったもので、また活用して説明してみても良いのかと思う。	・まだ3回目の参加なので知らない事が多いが、運営推進会議にて事業所の特色など理解を深められる説明もあれば良いと思う。 ・活動報告や、支援事例の報告を受け理解できたこともあった。	・運営推進会議にて小規模多機能型居宅介護のパンフレットを使い基本的なことから事業内容を説明し、理解を深める。また事業所が実践している事例の報告を行う。
F. 事業所の 防災・災害対策	・地域の防災情報は、民生員の方より連絡をいただき、法人として参加計画を検討する。 ・委員の方へ事業所の防災計画を説明するとともに、防災訓練への協力を願う。	・法人は福祉避難所の登録をしていると伺う、災害時には頼りになつてほしいと思う。 ・地域と連携を図ることは大事だと思っています。いざという時には情報の共有を図り、災害時に協働できればと思う。 ・活動報告にて、毎月1回の避難訓練を実施していると聞いているので、いざという時皆さん行動が出来るのだと思います。	・今年度より委員となり、今のところ防災計画や防災訓練へは参加したことがなかった。 ・事業所の避難訓練へ地域の方が参加する機会はなかった。	・同一敷地内の事業所と協働し、様々な災害を想定し実践的な訓練を行い災害へ備える - とともに、活動内容を運営推進会議にて報告し、法人の防災レベルを知っていただく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 11 月 26 日 (16:30~17:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	松本・和知・横沢・奥山・佐藤 (静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	6 人	0 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・「連絡ノート」を引き続き活用！小さい事でも記入し、出勤日には必ず既読し情報共有にて支援をする。 ・先ず利用者の思いを第一に考えましょう！無理な思いもあるかも知れませんが、出来る範囲で思いに寄り添った支援をしましょう。
前回の改善計画に対する取組み結果	・新たなタブレット導入にて連絡ノートに代わる、「申し送り」情報を載せ、業務開始前に確認することで情報を共有することができた。 ・始業前に時間が無く確認を忘れてしまい、「申し送り」の確認ができない時もあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	5	0	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	5	0	1	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	8	0	1	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	4	2	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・情報を共有し、日々の変化に対応し寄り添った介護ができている。 ・始業開始前に「申し送り」を確認し情報共有を行っている。 ・事前に介護者より利用者様の情報をアセスメントし、初期支援時は優しい声掛け、相手の話を丁寧に傾聴し安心して利用できるよう支援を心掛けた。 ・利用者様の様子を観察し、状況に合わせた声掛けや気遣いができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・初期支援で緊張してしまい、上手な言葉かけが出来ない時もあった。 ・家族や介護者との接触が少なく、関係作りがあまりできていなかった。 ・「申し送り」の見落としで、情報共有が遅れてしまう時があった。 ・利用者様を支える配慮をしているが、特定の方への対応に偏り他の方への気配りが疎かな時もあった。 ・自立支援を心掛けているが、出来そうな部分を思わずサポートしてしまう事があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・初期支援時に利用者様、ご家族が何を必要とされているのかを情報収集し、すべての職員が情報を共有することで、より良い支援ができるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 11 月 26 日 (16:30~17:00)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	松本・和知・横沢・奥山・佐藤 (静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	5 人	2 人	1 人	11 人

前回の改善計画	ミーティング開催後は記録を残し参加できなかった職員には「連絡ノート」にて記録閲覧を促し、必読して情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・「申し送り」事項を記入した際には、職員に既読を促し情報の共有を心掛けた。 ・「申し送り」を直ぐに既読確認しない職員がいると、同じ目標に向けた支援にずれが生じる時があった。 ・話し合ったことを「申し送り」に記録することを心掛けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	4	6	0	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	3	7	1	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	7	1	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3	3	3	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の思いに耳を傾け、寄り添った支援を心掛けている。 ・利用者様個々の情報や行動・訴えに寄り添い「～したい」という気持ちを把握するように心掛けている。 ・コロナウイルス感染症で行動が制限される中で、感染予防を踏まえてご家族様との面会や、外出の支援を出来る範囲ですることができた。 ・利用者の新たに知り得た情報や変化に気づいたときには、報告し記録「申し送り」に残し情報共有に心掛けた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・本人の「～したい」という思いに、コロナウイルス感染症の影響で実践が困難であり、制限されることが多くあり継続して支援ができなかった。 ・本人の「～したい」という思いに、家族側で受け入れ困難なケースもあり、本人の思いに添えないケースもあった。 ・全員でミーティングを実施することが難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・感染症対策を実施しながら、利用者様の「～したい」を目指した外出が行えるよう支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 11 月 29 日 (16:30~17:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	松本・和知・鈴木・横沢・奥山・樫村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	0 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・「以前の暮らし方」が少しでも多く把握できるように、意識しながらアセスメントシートを確実に既読し、自宅での生活環境に合わせた支援に繋げる。 ・情報共有によりチームが寄り添った支援で、利用者に安心をもたらし個々の声にならない声を察して、言語化できる支援を心掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者様の声にならない声を察して、もっと気づいてあげなければと感じた。 ・アセスメントシートを既読することで情報を共有し、チームでの支援を心掛けた。 ・気づきがあった場合情報共有できるよう、「申し送り」へ記入を心掛けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	8	1	1	11
② 本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6	0	0	11
③ ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	6	2	2	11
④ 本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	4	0	0	11
⑤ 共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	5	1	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・本人の思いや身体状況を把握できる様に心掛け、やる気を引き出す自立支援に取り組んでいる。 ・利用者様の思いや体調の変化に気づいたときは、他の職員に情報を伝え共有している。 ・利用者様の状態変化に気付いた事は、看護師に報告し記録「申し送り」に残し情報共有に心掛けた。 ・「申し送り」で情報共有されていたので、本人の状態の変化に合わせ対応できた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自ら意思表示を発信できる利用者様が優先になってしまい、自分から発信しない利用者様とゆっくり話をする時間が少なく、想いを引き出すことが不足していた。 ・情報収集不足から、「以前の暮らし方」を10個以上把握できていない利用者様もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・情報共有によりチームが寄り添った支援で、利用者に寄り添い個々の声にならない想いを察して、言語化できる支援を心掛ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 11 月 29 日 (16:30~17:00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	松本・和知・鈴木・横沢・奥山・檜村

◆前回の改善計画に対する取り組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	4 人	1 人	2 人	11 人

前回の改善計画	アセスメントシート等の情報や本人の思いより、自宅で生活をするために必要な地域資源とは何かを理解することにも要点を置き、チームで支援ができる体制を作る。
前回の改善計画に対する取り組み結果	必要な民生委員や地域の資源の理解不足や活用不足を感じた。また、アセスメントシートから知り得た情報を基に支援に取り組めた部分もあるが、まだまだチームで支援ができる体制の構築はできていないと感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	6	5	0	0	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	4	6	1	0	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	1	0	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	3	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様との会話を通じて、本人の生活スタイルや人間関係をイメージすることができた。 ・本人や家族とコミュニケーションを多く持つようにしている。 ・悠々の里へ入所されている利用者様は、接する機会が多く生活スタイルや人間関係を理解している。 ・家族との関わりが途切れないように状況をお伝えし相談したりし、家族の意向を確認している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源が思い浮かんでも、利用者様にどのように活用してあげたら良いのか理解できていない。 ・利用者の家族や地域の方と関わる機会少なく、地域資源等の情報不足を感じている。 ・地域とのつながりがコロナウイルス感染症で行動が制限され、以前より少なくなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・感染症対策を実施しながら、自宅で生活をするために地域資源を把握し活用する機会を多くする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 12 月 1 日 (16:00~16:30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	松本・中澤・佐藤(雪)・松浦・檜村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	5 人	0 人	1 人	11 人

前回の改善計画	アセスメントシートや連絡ノートには、多くの情報が含まれている。全職員が既読と確認サインを徹底し、チームが同じ方向で支援ができる体制を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・直接地域資源に関わる事がなかったと感じた。 ・「申し送り」の確認で情報共有ができ、利用者様の状態に合わせ支援ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	3	3	4	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	7	4	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	5	0	1	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様と家族の要望に合わせて、柔軟なサービスを提供している。 ・体調不良等状態の変化があれば、家族への連絡や通院介助を柔軟に行っている。 ・利用者様のニーズに応えドライブや外への散歩等、その日の状況で柔軟に支援をしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウイルス感染症の影響もあり地域資源への関わりが少なく、活用する機会がなかったと感じた。 ・地域資源の利用を考える前に、自分たち事業所だけで解決してしまっている。 ・ミーティングをするタイミングが少なかった。 ・記録内容によっては定型文のみで、詳細が載せられてなく記録から利用者様の「変化」に気づきができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・感染症対策を実施しながら、自宅で生活をするために地域資源を把握し活用する機会を多くする。 ・日々の介護記録には、「変化」や「かかわったこと」をしっかりと残し、情報共有ができる記録を残すようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 12 月 1 日 (16:30~17:00)
6. 連携・協働	メンバー	松本・中澤・佐藤(雪)・松浦・榎村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	4 人	2 人	11 人

前回の改善計画	・関係各所との会議へ参加される職員は限られている現状のため、参加した職員は会議内容の報告を行い情報の共有をする。 ・外部の参加可能なイベントを全職員で提案し、利用者のニーズに合わせ参加するイベントを増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	・関係各所との会議へ参加し、会議資料を説明し情報共有ができた。 ・コロナウイルス感染症拡大防止の影響で、参加できるイベントがなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	2	3	2	4	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	0	2	6	11
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	2	0	3	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	1	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・敷地内の建物で「子供食堂」を実施しており、地域の方が訪れている。 ・6 月より運営推進会議を再開し、会議を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・立場上その他のサービス機関との会議へは参加していない。 ・法人の秋祭りを計画していたが、コロナウイルス感染症拡大防止の影響で突然中止となり、地域の方々との交流ができなかった。 ・コロナ過の影響でイベントへの参加は自粛していた。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・感染症対策を実施しながら、地域の活動やイベントに積極的に参加するようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 12 月 3 日 (16:30~17:00)
7. 運営	メンバー	松本・佐藤(雪)・和知・長谷川・佐藤(静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	3 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・利用者様や家族を支えるために、事業所のあり方についてミーティングを行い、チームが同じ方向で支援ができる体制を目指す。 ・引き続き運営推進会議の場で、施設サービス内容や事例報告を発信し、事業所のあり方について理解を深める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・事業所の在り方を伝える場面はあったが、ミーティングの機会が設けられなかった。 ・6月より運営推進会議を再開し、施設サービスの内容を発信している。 ・運営推進会議等へ参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	3	3	1	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	5	6	0	0	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	5	3	2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者様、家族からの意見や苦情があった際は、報告共有し改善することで運営に反映している。 ・サービスの向上を目指し、職員同士で話し合い意見交換を心掛けている。 ・苦情や意見が入った時は、情報共有しその都度対応をしている。 ・運営推進会議にて事業所の状況を発信し、出た意見等は運営に反映している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・事業所の在り方についてミーティングの機会がなく、意見を発言する機会がなかった。 ・コロナウイルス感染症拡大防止の影響もあり地域と交流の場がなく、協働した取組みはなかった。 ・地域との交流がないため、意見や苦情が分からない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・運営推進会議の場で施設サービス内容や事例報告を発信し、事業所のあり方について理解を深め、感染症対策を実施しながら、積極的に地域の方々と交流をはかるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 12 月 3 日 (16:30～17:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	松本・佐藤(雪)・和知・長谷川・佐藤(静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	1 人	3 人	6 人	11 人

前回の改善計画	・さらなるケアの質向上を目指すため、職場外研修への参加をバックアップする。 ・地域連絡会に機会があれば参加をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職場外研修への参加は一部の職員になってしまった。 ・職場内研修へ参加し、参加していない職員へは研修内容を実演してもらい情報共有ができた。 ・地域連絡会には参加していない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	5	1	4	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0	2	4	5	11
③	地域連絡会に参加していますか	0	1	3	7	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	2	0	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職場内研修に参加し、学んだ事を業務に生かしている。 ・リスクマネジメントを常に頭に入れて、介護に従事している。 ・一部の職員に限られたが、職場外研修へ参加できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナウイルス感染症拡大防止の影響で研修等へ参加できなく、スキルアップに取り組めなかった。 ・地域連絡会には参加していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・一部の職員に限らず、オンライン研修も含めて外部の研修へ積極的に参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5 年 12 月 3 日 (16:30~17:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	松本・佐藤(雪)・和知・長谷川・佐藤(静)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	0 人	1 人	11 人

前回の改善計画	・介護の基本は大切と再認識し不適切ケアに繋がらないために、いかなる利用者も人生の先輩と敬い、気持ちに寄り添った介護に徹する。 ・成年後見制度の研修を活かし、今後携わる方に必要性があれば的確に助言し救済に努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介護職員としての自覚を持ち、利用者第一に考え常に相手の身になった支援を心掛けた。 ・成年後見制度を利用する利用者様がいなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	1	0	0	11
②	虐待は行われていない	11	0	0	0	11
③	プライバシーが守られている	7	4	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	3	4	4	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	5	0	0	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は職員が意識をしっかり持っており行っていない。 ・プライバシーを守るように心掛けている。 ・人権を傷付けないように配慮し対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・話し合いが大きな声になってしまい、呼名が出て話している事があった。 ・成年後見制度は現在ご家族の支援があるため利用していない。 ・他職員の言葉遣いが気になる時があったが、注意できなかった。 ・「ちょっと待っててください。」や「ここに座っていてください。」等、行動制限になりかねないことを言うてしまうことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・いかなる利用者様も人生の先輩と敬い、さらなる丁寧な言葉かけで気持ちに寄り添った介護に徹する。	